

第 2 回 経済トップセミナー

令和 3 年 10 月 21 日 14 時より、大分駅南にある J : C O M ホルトホール大分の大ホールにおいて、第 2 回 経済トップセミナーを開催しました。100 周年記念事業実行委員会が主催して、先月の広瀬大分県知事に次ぐ第 2 弾として開催したものです。

講師は前日本銀行総裁、白川方明さんです。先生は平成 6 年から 7 年にかけて、日本銀行大分支店長を務められた方でもあります。

四極会員、経済学部学生、一般市民など 310 名が聴講されました。



白川先生は、日本経済の将来を考えるとという演題で、日本経済が抱える課題解決のためには問題点を突き詰めた上で、解決の方向について社会全体としてある程度の合意を形成しなければならないと次のように説かれました。

日本経済はバブル崩壊の後、長期にわたって停滞し世界各国に後れを取ってきた。しかし生産年齢人口一人当たりの国内総生産はむしろ主要国を上回っており、人口減少と高齢化が低成長の主因だと考えられる。

人口減少下で経済成長を維持するには労働力人口の



増加（高齢者、女性の就労、外国人労働者の受け入れ等）と生産性向上の二つの方法がある。経済全体の生産性を上昇させるには、生産性が上昇した分野への資源の再配分（構造改革、規制緩和）が必要だ。非効率企業の温存、地域経済格差、研究開発投資と社会保障支出のバランス等について国民の合意が形成されなければ解決の方向に進めない。

同時に、このような説明もありました。

金銭で計算した経済規模とは別に、余暇時間、平均寿命、所得平等度などを調整した「経済厚生」を測定すると、日本の水準は欧米諸国に肩を並べ、過去30年間の成長率はドイツと並んで高い。

後半では、政府債務残高について語られました。

最後に強調されたのは、私たち一人ひとりがどのような社会を作りたいかを考えることの重要性です。政治は国民の声を反映します。

経済トップセミナーはあと3回計画しています。

第3回 令和3年11月18日（木）

講師 サッポロビール㈱代表取締役社長 野瀬裕之氏

第4回 令和3年12月9日（木）

講師 九州電力㈱代表取締役社長執行役員 池辺和弘氏

第5回 令和4年2月17日（木）

講師 九州旅客鉄道㈱

代表取締役社長執行役員 青柳俊彦氏

いずれも会場はJ:COMホルトホール大分の大ホールで、14時からです。多数の皆様のご参加をお待ちしています。